

城山西小学校子ども歌舞伎

城山西小学校全校児童による子ども歌舞伎が、10月15日(土)に同小学校体育館で行われます。二川歌舞伎芝居は、二川区の城山神社秋祭りに奉納されてきた農村歌舞伎で、江戸時代からおよそ200年の歴史をもつ伝統芸能です。その中でも和歌山県指定文化財である「三番叟」は、歌舞伎の冒頭で演じられ、「姫の舞」「鶴の舞」「鈴の舞」の3部からなり、三味線・鼓・横笛・拍子木・謡(うたい)のついでに演じられます。

この伝統ある歌舞伎の文化を子どもたちに受け継いでいこうと、学校・育友会・保存会が協力して子ども歌舞伎の取り組みが始まり、初めて子ども歌舞伎が披露されたのは平成元年(1989年)2月のことです。以来、毎年子どもたちによる公演が行われ、今年で28回目を数えます。現在では学校行事としても定着し、親子で子ども歌舞伎を経験することも多くなってきました。

歌舞伎の練習は、昨年10月の発表会の後から毎週1回の総合学習の授業を活用し、1年間をかけて行われてきました。保存会の方々による熱心な指導だけでなく、

上級生が下級生の指導役となり、下級生も上級生が演じた姿にあこがれを抱き、やりがいを感じながら真剣に取り組んできました。子どもたちも使命感を感じ、練習では



子ども歌舞伎 (写真は平成27年)

主体的に学ぶ姿勢が見られます。

城山西小学校は、平成28年度をもって休校となり、子ども歌舞伎・芸能発表会としての公演は、今年で一つの区切りを迎えます。公演にあたっては、事前の舞台設営や、当日の化粧・着付けなどを地域の方々が裏方として支え、子どもたちによる1年間の成果が発表されます。学校と地域が一体となって行われる子ども歌舞伎をぜひともご観覧ください。

子ども歌舞伎・芸能発表会

日時/10月15日(土) 16時開場・19時開演
会場/城山西小学校体育館

(有田川町二川361)